

にいやま えつこ
新山 悦子 NIIYAMA Etsuko

看護学部 看護学科 准教授
 E-mail : eniyama@shikoku-u.ac.jp
 TEL : 088-665-9308

PROFILE 研究者略歴	DATA 主な業績
<p>■生年月 1970年 4月</p> <p>■学位 博士（保健学）（広島大学/2009. 3）</p> <p>■学歴 徳島大学大学院人間・自然環境研究科人間環境専攻修了（修士（学術））（2004. 3） 広島大学大学院保健学研究科保健学専攻（博士後期課程）修了（博士（保健学））（2009. 3）</p> <p>■主な職歴 徳島大学医学部附属病院文部科学技官看護師（1993. 4） 徳島大学病院情報統合医学講座精神医学分野研究補助員（治験コーディネーター）（2003. 10） 川崎医療福祉大学医療福祉学部保健看護学科助手（2004. 4） 川崎医療福祉大学医療福祉学部保健看護学科講師（2006. 4） 四国大学生生活学部養護保健学科講師（2008. 4） 四国大学看護学部設置準備室室長補佐（2008. 4） 四国大学附属看護学研究所員（2008. 4） 四国大学附属看護学研究所長補佐（2008. 4） 四国大学看護学部看護学科准教授（2009. 4）</p> <p>■専門分野 基礎看護学</p> <p>■現在の研究 職場において暴言・暴力を受けた新人看護職のメンタルヘルスの維持・向上に役立て、それにより患者への質の高いケアの提供をするために、高い心的外傷反応が持続する看護師と回復する看護師の回復要因、脆弱要因を明らかにし、その回復・脆弱要因を取り入れた心理教育、グループ療法、リラクゼーションを実施している。現在は、継続したグループアプローチを実施している。</p> <p>■所属学会 日本看護科学学会、日本看護研究学会、日本災害看護学会、日本がん看護学会、日本産業ストレス学会、日本看護福祉学会、日本看護学教育学会、日本救急看護学会、日本心理学会、日本健康心理学会、日本航空医療学会、日本トラウマティックストレス学会、日本臨床救急医学会、川崎医療福祉学会、学校保健学会、全国看護管理・教育・地域ケアシステム学会</p>	<p>■出張授業 1) 救急法について 2) 職場の暴言・暴力と看護師のストレスについて</p> <p>■主な学会及び社会活動等 1) 日本赤十字社安全法奉仕団、救急法指導員</p> <p>■主な研究論文・著書等 1) 『福祉のための医療用語辞典』（共著、2006、創元社/大阪、94-96・207-210.） 2) 『介護職員基礎研修課程テキスト』（共著、2007、株式会社日本医療企画/東京、297-315.） 3) 「On the Feelings of Female Laryngectomees」（共著、2008、Kawasaki Journal of Medical Welfare, Vol. 13, No. 2, 107-116.） 4) 「On the Feelings of The(Female)Family Members of a Laryngectomee」（共著、2008、Kawasaki Journal of Medical Welfare, Vol. 13, No. 2, 137-145.） 5) 「A survey of nurses who experienced trauma in the workplace」（共著、2009、influence of coping strategies on traumatic stress, Stress and Health.）</p>